

2011年6月に立教大学と東京芸術劇場の連携協定が締結され、当研究所（当時・ESD研究センター）の企画・運営で記念シンポジウム（2011年11月28日、立教大学）を開催しました。その第2弾となる本シンポジウム（主催：立教大学／共催：東京芸術劇場、NPO法人ゼファアポ袋まちづくり、ESD研究所／後援：豊島区）では、豊島区制施行80周年を機に、大学と劇場のみならず、豊島区や地元NPOなど地域主体の協働体制を構築し、西池袋の持続可能な地域づくりとより広範な社会貢献をめざすための議論が行われました。ここでは、当日参加した学生によるレポートを掲載します。

高野区長は西口駅前広場の完成を例に挙げ、行政の立場からも引き続き「西



(※初出は大学公式サイト「講演会レポート」〈2012年度〉  
[http://www.rikkyo.ac.jp/feature/lecture\\_report/](http://www.rikkyo.ac.jp/feature/lecture_report/))

[illegible]